

一貫生産ならではのコレクション

創業61年を迎えたプレタポルテメーカーのはなや。自社ブランド「ハナヤコレクション」は、自社アトリエを構え、デザイン、企画、縫製まで全ての工程を手掛けている。一貫生産ならではのコレクションで、デザイン性ときめ細かな対応で、顧客と御先の満足を高め続けている。人手不足が言われる中でも、丁寧な服作りに欠かせない人材や工房に投資し、ほかにはない製品とサービスを提供している。

プレタポルテメーカーのはなや

世界に通用する服を

はなやは、上田純子社長兼デザイナーが立ち上げた。上田デザイナーは「おしゃれ好きで、絵も好き」だったが、服作りを学んだことがなかったため、パリに渡り、オートクチュールを学んだ。時代背景とともに、プレタポルテに変わり、厳選した素材を中心に、熟練の職人によって1点ずつ心を込めて製作している。最大の特徴であるフランス式立体裁断は、ボディにトワール(布)をピンで打っていきながら、デザインのイメージを彫刻のように立体的なパターンで作り上げている。長年研究を重ねたパターンで、「世界に通用する服」を念頭に、デザイナーのイメージだけではなく縫製が縫いやすくシルエットが美しいようにしている。

服は日本全国のカシミアやウールなど中心に、膨大な布サンプルからシーズンごとに15~20点をピックアップし、生地、素材感や風合い、仕上がり、状態をイメージして慎重に選んでいる。生地や糸の発注、交渉などは直接工場と密にコミュニケーションを取りながら進め、作り手のこだわりや使用



直営店を構える本社。2階では多様なイベントを開催

した生地の特徴などを客に伝えることができ、信頼・信用にもつながっている。

ブランドは7~13号をレギュラーサイズとして展開しながら、特別注文として15~19号と幅広く対応している。また、パターンオーダーも行っている。袖丈やウエストだけでなく、姿勢や肩のラインなど細部まで採寸し、体形に合わせて補正し仕上げる。「フルオーダーに引けを取らない着心地とシルエット」で、着る人の体形を美しく引き立てている。

20~80代のベテランまで

デザイナーの思いや意図を製品化するのが強みの本社近くに構える自社ア



多種多様な設備を使い丁寧に仕上げる



長年のストックや保存を財産に、ものづくりに生かしている

技術、歴史を継承し満足度を高める

トリエ。1、2階で、1階の工房にはパターン部門の大型デジタイザーやCAD(コンピューターによる設計)など、カット部門の裁断機や芯貼り機、洗濯ネーム機など、縫製・仕上げ部門の工業用ミシンやPFADFミシン、オーバーロック、2本針ロック、パイピングミシンなど、ホール部門のハトム鉤機、両止め鉤機など、商品を作り上げる全工程に必要な設備を揃えている。別場所には家庭機のニット職人もいて、多種多様なものづくりを続けている。

ハナヤコレクションは、長年培われたブランドの持つ卓越した技術を「しっかり守って継承していくために、人材を育て、教育し続ける」ことで保たれている。アトリエはコロナ禍や建物構造などから以前より縮小し社員も減ったが、現在13人が在籍。25年4月には、福岡で縫製などを学んだ清水遥香さんが地元に戻り入社した。20代から80代の超ベテランパターンナーの奥住寿美さんまで、幅広い年代の社員がブランドを支えている。清水さんは「目標はパターンナー」と、今は裁断など色んな工程の指導やサポートを行っており、受け継いでいく技術を学んでいる。

財産を生かしていく

アトリエの2階にはこれまでの型紙

思いを共有する

部屋の空間デザインやオリジナル化粧品開発など、感性を生かした美や癒やしの追求も行う上田デザイナー。その感性から、日常の中で服のデザインも生まれていく。そして、「今私たちに大切な言葉」として、生きることは愛すること、愛することは理解することなどを、社員に伝えている。



上田社長兼デザイナー

や生地、ボタンなどの付属品が所狭しと保管されている。アーカイブからのデザインや以前使用した生地、付属品使いなど、技術とともに素材などでも長年の蓄積が生かされている。また、洋服に使用する素材を使ったバッグやチャームなど雑貨も制作し、服とのトータルコーディネートが楽しめる。60年の歩みの中で集めてきた希少なアートボタンと天然革で丁寧に仕上げた一点物ネックレスは、職人たちのクラブトマンシップが光る。その思いを伝えるため、「裁断責任者」「縫製責任者」「点検責任者」の名前が入ったタグを付けている。

直営店を構える本社2階では、多様なイベントを開催。新作コレクションのファッションショーやコーディネートレッスン、車とファッションのラグジュアリーな一時など、商品を作るだけでなく、ファッションを楽しむ場や伝える場も提供している。

アトリエには、ほかにも「しなやかに感じて即行動」などの指針が機会前や柱など随所に貼ってある。各工程に集中する作業場の中で、社員も上田デザイナーが日々感じて伝えたい思いを共有している姿は、はなやのものづくりが一体となって思いを伝えていることを感じる。「売れればいい」「作ればいい」ではなく、思いが込められた商品となっている。

(古川伸広)

私たちが、日本のものづくりを担っています！

レディース プレタポルテ・メード



フジキウ服装株式会社
〒574-0015 大阪府大東市野崎4-11-8
TEL.072-879-1666 FAX.072-879-6753

その一歩が
人生を織り成す

松文産業株式会社

URL: <https://matsubun.co.jp/>